

## 国が実施する発がん性試験について

国が実施する発がん性試験は、労働安全衛生法第57条の5に基づき、化学物質による労働者の健康障害防止のための国の援助等として実施されている。

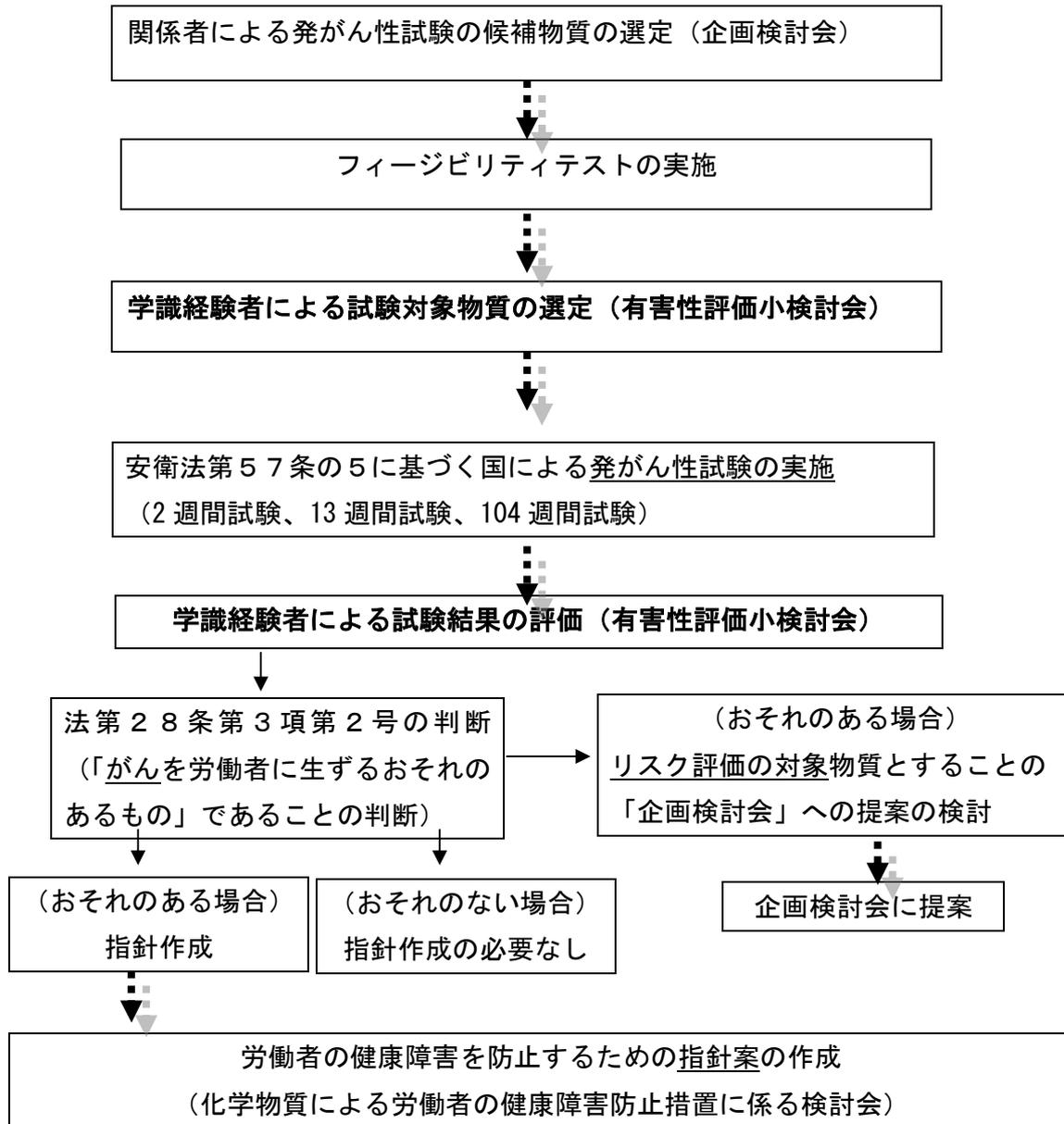
当該試験の結果、対象化学物質が「がんを労働者に生ずるおそれのあるもの」と判断される場合には、厚生労働大臣が当該化学物質を製造し、又は取扱う事業者が当該化学物質による労働者の健康障害を防止するための指針を公表することとなっている（法第28条第3項）。

発がん性試験の実施にかかるスキームは、発がん性試験を開始する前に、発がん性試験の実施の可能性を判断するフィージビリティテストを実施。これを踏まえて、試験が可能となった物質の中から、吸入試験について毎年度、1物質を選び試験に着手する。

試験については、試験対象物質の用量を決定する2週間試験、13週間試験を実施した上で、104週間の発がん性試験を実施しており、フィージビリティテスト着手後、試験結果の公表までには5年程度を要し、これまでの試験の実績及び実施中の物質は別紙2のとおりである。

有害性評価小検討会においては、（1）フィージビリティテストの結果等に基づき、技術的観点から、次年度において発がん原性試験に着手する物質の選定を行うとともに、（2）既にかん原性試験の終了したものについて試験結果の評価を行うものである。

発がん性試験の対象物質の選定から行政対応までのフロー図



(注) 平成 25 年度試験開始物質より、上記の流れを一部変更している。

## 発がん原性試験の試験結果、対応状況等

平成25年4月1日現在

報告年度	吸入試験		経口投与試験	
	対象化学物質名	試験結果、対応状況等	対象化学物質名	試験結果、対応状況等
昭和62	1987	四塩化炭素		
昭和63	1988		<i>m</i> -フェニレンジアミン・ニ塩酸塩(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成元	1989	メチルプロミド(臭化メチル)		
平成2	1990		1, 4-ジオキサン(混水)	H4指針公示、H17改正
平成3	1991	1, 2-ジクロロエタン	<i>p</i> -クロロニトロベンゼン(パラニトロクロロベンゼン)(混水)	H5指針公示、H17改正
平成4	1992	テトラクロロエチレン(パークロルエチレン)	1-クロロ-2, 4-ジニトロベンゼン(混水)	ラットの雌雄に対する発がん性示唆
平成5	1993	クロロホルム		
平成6	1994		$\beta$ -クロロプロピオン酸(3-クロロプロピオン酸)(混水)	ラットの雌に対する発がん性示唆
平成7	1995	<i>p</i> -ジクロロベンゼン	酢酸ビニル(混水)	H8指針公示、H17改正
平成8	1996	1, 1, 1-トリクロロエタン	ビフェニル(混水)	H8指針公示、H17改正
平成9	1997	塩化メチル(クロロメタン)	1, 3, 5, 7-テトラアザトリシクロ(3, 3, 1, 1 <sup>3,7</sup> )デカン(ウロロピン、ヘキサメチレンテトラミン)(混水)	マウスの雌に対する発がん性示唆
平成10	1998	メタリルクロライド(3-クロロ-2-メチル-1-プロペン)	アントラセン(混水)	H13指針公示、H17改正
平成11	1999	ジクロロメタン(二塩化メチレン)		
平成12	2000	<i>N, N</i> -ジメチルホルムアミド	グリオキサール(混水)	ラットの雌に対する発がん性の可能性を示唆するもの不確実な証拠
		2-ブテナール(クロトリアルデヒド)	ヒドラジノー水化物(混水)	H17指針公示
平成14	2002	2, 3-エポキシ-1-プロパノール(グリンドール)	キノリン(1-アザナフタレン)(混水)	H17指針公示
平成15	2003	アリルクロリド(塩化アリル)	1, 4-ジクロロ-2-ニトロベンゼン(混水)	H17指針公示
		シクロヘキセン	アクリル酸=2-ヒドロキシエチル(混水)	ラットでは、雄に対する発がん性示唆、対する発がん性の不確実な証拠。マウスに対する発がん性なし。
			<i>o</i> -フェニレンジアミンニ塩酸塩(混水)	H23指針公示、H24改正
			<i>p</i> -ニトロアニソール(混水)(パラメトキシニトロベンゼン、1-メトキシ-4-ニトロベンゼン)	H23指針公示、H24改正
平成16	2004	1-プロモ-3-クロロプロパン	2, 4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン(混水)	H23指針公示、H24改正
平成17	2005	ノルマル-ブチル-2, 3-エポキシプロピルエーテル	アセト酢酸メチル(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
		1, 2-ジクロロプロパン		
平成18	2006	プロピオニトリル	オルト-クロロニトロベンゼン(1-クロロ-2-ニトロベンゼン)(混水)	H23指針公示、H24改正
平成19	2007	1-プロモブタン(臭化ブチル)	2-フェノキシエタノール(エチレンジグリコールモノフェニルエーテル)(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成20	2008	酢酸イソプロピル	2-アミノ-4-クロロフェノール(混水)	H24指針公示
平成21	2009	2, 4-ベンタンジオン(アセチルアセトン)	2-メチル-1-プロパノール(イソブタノール)(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成22	2010	アクリル酸	2-アミノエタノール(混水)	ラット、マウスともに発がん性なし
平成23	2011	メチルアミン	ジフェニルアミン(混水)	ラットの雌雄及びラットの雄に対し閾値のある発がん性あり 指針は策定しないが、リスク評価を実施予定(今後、ばく露作業報告告示予定)
平成24	2012	<i>N, N</i> -ジメチルアセトアミド	3-アミノフェノール	H24年第3回有害性評価小検討会において検討し、ラット、マウスともに発がん性なしと評価された。

(試験実施中の物質)

報告予定年度	吸入試験		経口投与試験	
	対象化学物質名	対応状況等	対象化学物質名	対応状況等
平成25	2013	エチレンジグリコールモノエチルエーテルアセテート	4- <i>tert</i> -ブチルカテコール	平成25年度有害性評価小検討会で検討予定
平成26	2014	○メタクリル酸2, 3-エポキシプロピル ○多層カーボンナチューブ	4-クロロ-2-ニトロアニリン	
平成27	2015	アクroleイン		
平成28	2016	アクリル酸メチル		
平成29	2017	メタクリル酸ブチル		
平成30	2018	2-プロモプロパン		